

ITS-100 ▶ 線路測定器



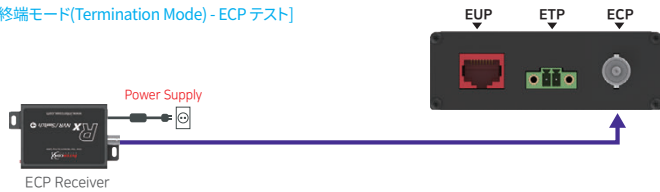
▲ 構成図

→ 終端モードとバイパスモードを同時に接続しないでください。測定値にエラーが発生します。

■ 終端モード

→ ECP、ETP、EUP端子を同時に接続しないでください。1つずつ接続して測定してください。

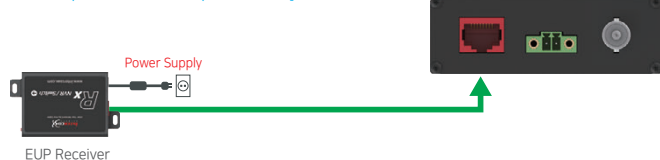
[終端モード(Termination Mode) - ECPテスト]



[終端モード(Termination Mode) - ETPテスト]



[終端モード(Termination Mode) - EUPテスト]



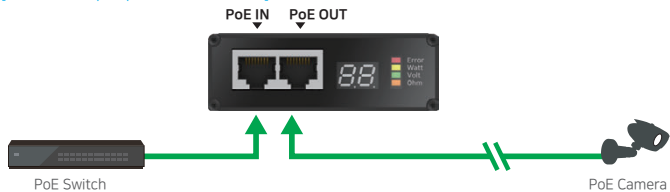
■ バイパスモード

→ このモードでEUPシリーズの製品を接続しないでください。不良の原因になります

[ITS-100をLANケーブル終端PoE(PD)カメラ部位で使用する方法]



[ITS-100をPoE(PSE)部位で使用する方法]



▲ 概要

本製品はカメラを設置する場所に設置可能な消費電力を確認するための機器です。ITS-100を利用してRx受信製品からITS-100測定位置まで線路抵抗値或使用可能な送信部の電力量の予測と消費される電力を測定し、表示をします。現在の線路でカメラの設置部位についての電源供給および線路の異常有無を確認、点検できるため、設置および維持補修に使うことができます。

▲ 特徴

■ 終端モード(B-linx終端モード、ECP/EUP/ETP製品)

- ・ カメラが設置される線路の情報を測定します。
- ・ 測定線路に対応可能な消費電力 (Watt) (インストール可能なPoEカメラを検討できます。)
- ・ 受信機(Rx)から設置場所まで線路抵抗(ohm)
- ・ 受信機(Rx)から設置場所まで供給される電圧(volt) (供給電圧を測定するのではなく、過電圧及び低電圧を測定します。)
- ・ PoE製品動作障害予想の時Error表示(線路電圧降下基準)
- ・ 測定情報表示 (周期的な情報測定、Display 表示)
- ▶ 受信機(Rx)未装着時、動作しません。(自体電源がなく、受信機(Rx)製品の出力電圧で動作します。)

■ バイパスモード(線路接続モード、PoE)

- ・ カメラ動作中、PoE線路の中間に装着して線路情報を測定します。
- ・ カメラ動作中の消費電力(watt)
- ・ カメラ動作中の線路電圧(volt)
- ・ カメラ部位装着時のカメラの消費電力
- ・ リアルタイム測定後、情報表示(周期的な情報測定、Display 表示)
- ・ PoE output端子にPoE(PD device)カメラ接続時に作動
- ▶ PD device未装着時、動作しないことがあります。(自体電源がなく、PSE出力電圧で動作します。)

▲ 仕様

	終端モード	バイパスモード(PoE)	備考	
動作電圧 (VDC)	12~60V	38~60V	バイパスモードはPoE動作範囲で制限(af/at)	
表示仕方	FND	2字、赤	7セグメントの表示装置、2字	
	LED	赤色:障害	赤色:障害	FND表示値の単位表示
		黄色:電力量(W)	黄色:電力量(W)	Error:作動範囲外の時
		緑色:電圧(V)	緑色:電圧(V)	測定値単位、順次繰り返し表示
表示範囲	使用可能電力: 1~99W	使用可能電力: 1~60W		
	電圧: 38~58V	電圧: 38~58V		
	線路抵抗: 1~200 Ω	線路抵抗: 1~200 Ω		
入力端子	ECP: BNCモデル	PoE IN: RJ45(金属)		
	EUP: RJ45(赤)モデル ETP: 2P端子モデル	POEモデル		
出力端子	無し	PoE OUT: RJ45(金属) POEカメラ連結		
反復検査	5秒間	3~5秒間	各情報順番表示	
Detection機能	Smart detection PD機能無し	無し PSEはカメラPDを認識	バイパスモードはPOE信号を出力段でバイパスするので速度測定がなく、電源関連のみ測定	

▲ 外観図

